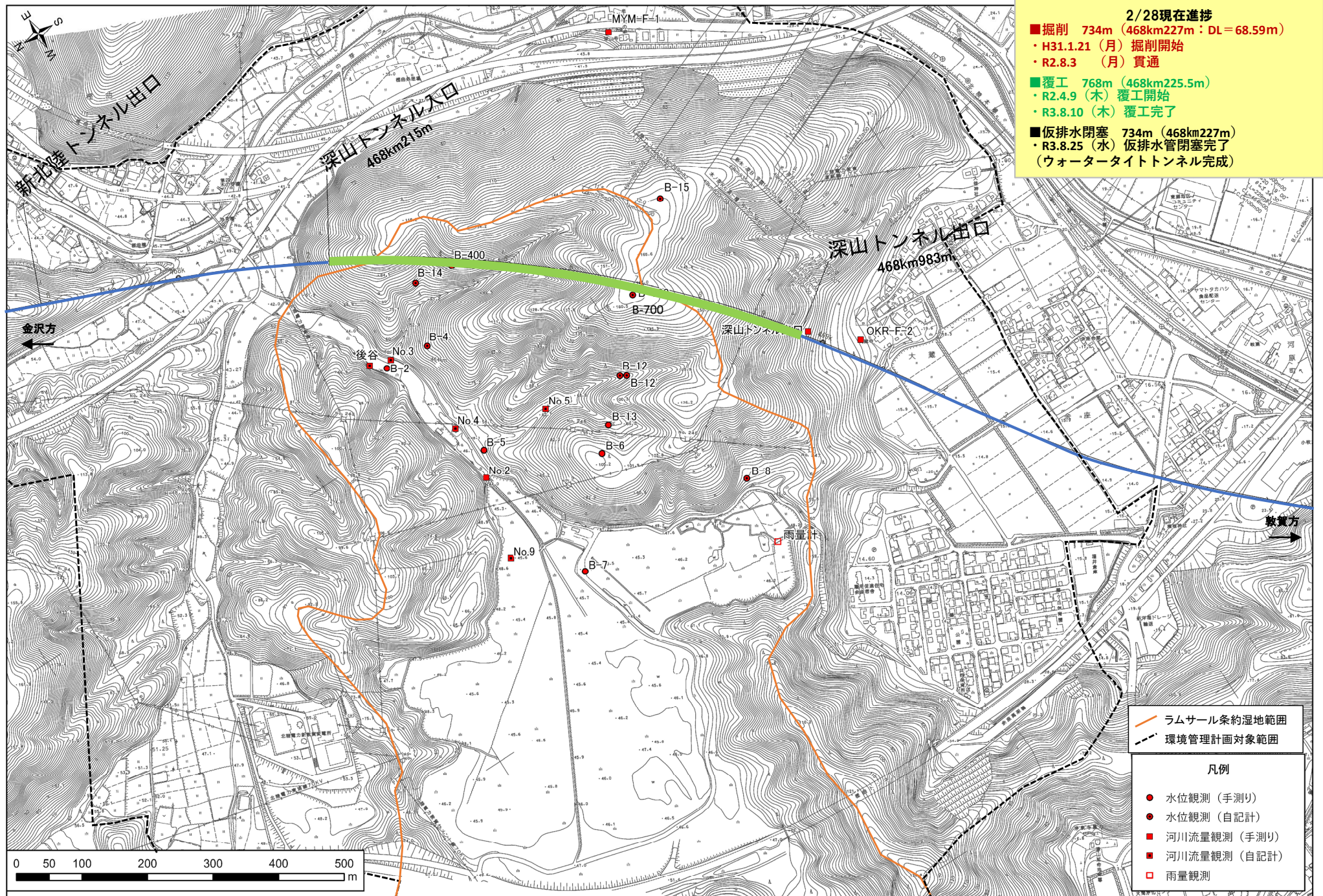


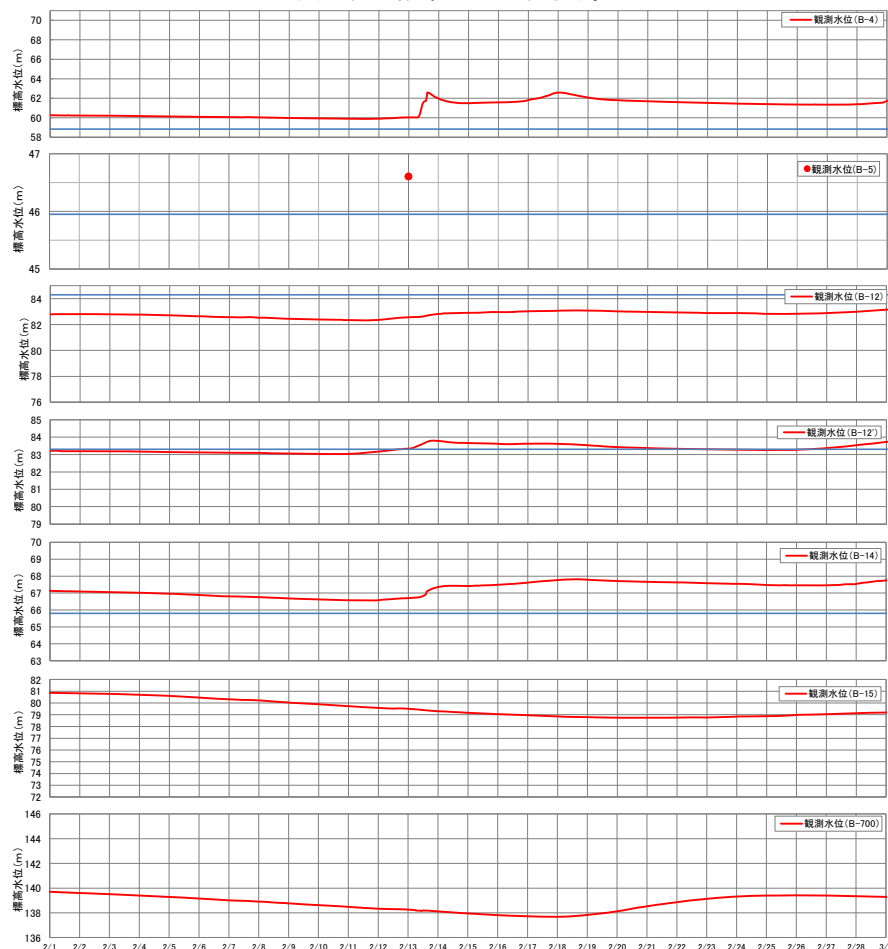
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和7年2月1日（土）～令和7年2月28日（金）

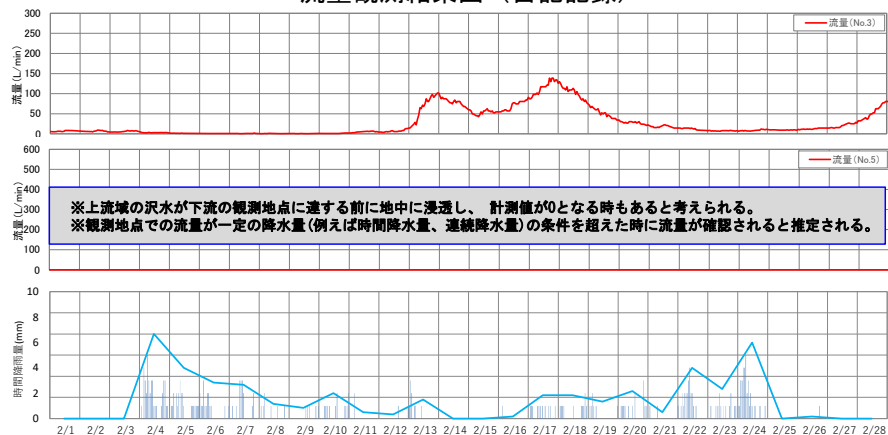
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図（自記記録）



流量観測結果図（自記記録）



B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

B-700 地下水位

No. 3 流量

No. 5 流量

全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
□変動あり（注意体制への移行を検討）

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加：B-6、B-13、B-15以外
■2m未満：B-13、B-15
□5m未満： ■5m以上：B-6

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上（6日） □50mm以上

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概 要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-4（自記水位計）：融雪水の浸透に反応したとみられる水位上昇が2/13と2/17で確認された。過年度最低水位を上回っている。
- ③B-5（手計り）：過年度最低水位を上回っている。
- ④B-12（自記水位計）：融雪水の浸透に反応したとみられる水位上昇が期間中の2/12～2/18と2/26以降で確認された。過年度最低水位を下回る状態が続いているため、注視が必要。
- ⑤B-12'（自記水位計）：融雪水の浸透に反応したとみられる水位上昇が2/12～2/13に確認された。過年度最低水位付近で変動しており、過年度最低水位をわずかに上回る。
- ⑥B-14（自記水位計）：融雪水の浸透に反応したとみられる水位上昇が期間中の2/13～2/18に確認された。過年度最低水位を上回る。
- ⑦B-15（自記水位計）：期間中の降雨と融雪水の浸透に反応せず、水位は低下する傾向がみられる。
- ⑧B-700（自記水位計）：期間中、2/18まで水位は低下傾向であったが、融雪水の浸透により、2/18以降は水位上昇に転じている。なだらかな水位変動がみられる。

■流量変動について

- ①No. 3（自記）：流量は融雪により増加する。期間中、降雨あるいは融雪のない時期は流量のない状態が確認される。
- ②No. 5（自記）：期間中の流量は0L/minの状態が続く。
⇒無降雨・少雨時や大雨の数日後において、当該地点の上流域の沢水は観測地点に達する前に地中に浸透し、流量の計測値がゼロとなっている状況である。
⇒当該地点の上流域で一定の降水量の条件(例えば時間降水量、連続降水量)を満たした時に観測地点で流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ① 1月の日最大降水量：1/10の38.0mmである。
⇒ 2月の日最大降水量：2/4の40.0mmである。
- ② 1月の降水量：255.0mm、2月の降水量：257.0mmである。
昨年1月は201.5mm、2月は155.0mmである。
平年値（敦賀アメダス）は1月は269.5mm、2月は164.7mmである。